

## 1. ITER トロイダル磁場コイル最終号機完成式典の開催

量子科学技術研究開発機構（以下、量研）は、日本が調達責任を有する ITER 向けの 9 機のトロイダル磁場（TF）コイルの製作を進めている。そのうちの予備機 1 機を含む 5 機は、三菱重工（株）と三菱電機（株）の協力体制で製作を進め、4 機を東芝エネルギーシステムズ（株）が製作している。既に 9 機中 7 機が ITER サイトに納入され、この度、トカマクに組み込まれる 8 機のうち、最終号機となる TF コイル（TF07）が完成し、2023 年 2 月 21 日に完成式典が開催された（図 1、図 2）。

この TF コイルは、東芝エネルギーシステムズ（株）が担当する 4 機の TF コイルの最終号機である。TF コイルの製作は 110 トンの巻線部（WP）をステンレス鋼製のコイル容器内に収め、隙間を樹脂で含浸することで WP とコイル容器を一体化し、コイル容器の最終機械加工を経て、完了となる。東芝エネルギーシステムズ（株）の高い技術力と一貫した品質管理体制に加えて、関係者の核融合に対する情熱と製作開始から 10 年間に及ぶ献身的な努力によって、TF コイルの厳しい要求を達成して、TF コイルの製作を完遂した。

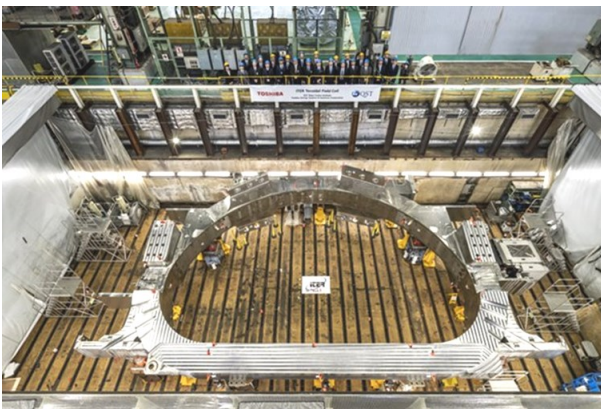


図 1 完成したトロイダル磁場コイル（TF07）。\*（ ）内は、ITER 機構での TF コイル番号。



図 2 TF コイル（TF07）の完成式典。



図 3 工場から出荷される TF コイル（TF07）。

TF07は3月16日に工場からITERサイトへ向けて出荷され（図 3）、海上輸送及びフランス国内での陸上輸送を経て、6月にITERサイトへ到着する予定である。三菱重工（株）と三菱電機（株）が担当する予備機である TF コイル 9 号機は、6月に完成する予定である。

## 2. ITER 機構邦人職員等の現状と応募支援

2023 年 3 月末現在の ITER 機構職員は 1078 名であり、2022 年～2023 年には、120 名の追加採用が ITER 理事会で承認されて、最新の事業のニーズに合わせて公募が行われているところである。3 月 15 日には鎌田裕副機構長（科学技術担当）が着任し、邦人職員は専門職 39 名、支援職 3 名の合計 42 名と、これまで最多の邦人職員数となった。この他に、ITER プロジェクトアソシエイト 6 名、客員研究員 1 名、量研職員 2 名が日本から ITER に派遣されている（3 月末現在）。この他、今後 7 月までに専門職員が 2 名着任する予定である。

2 月、ITER 機構人事より 50 名の公募予定リストが示された。公募部署の内訳は、機構長オフィス 9 名、建設ドメイン 21 名、コーポレートドメイン 5 名、エンジニアリングドメイン 7 名、科学・運転ドメイン 8 名である。これを受けて量研では、3 月 8 日と 17 日の 2 回、30 分間のショートセミナーを開催し（図 4）、今後の公募の動向と職務記述書の見方、人事に伝わる効果的な応募書類の書き方、面接時のアピール方法などについて説明した。参加人数は合計 71 名であった。

今年度、量研では 1 ヶ月に 1 回程度の頻度でオンラインセミナーを開催して応募のコツなどをお伝えし、邦人職員の増強に努めていく。

ITER 公募案内 <https://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/jobs.html>

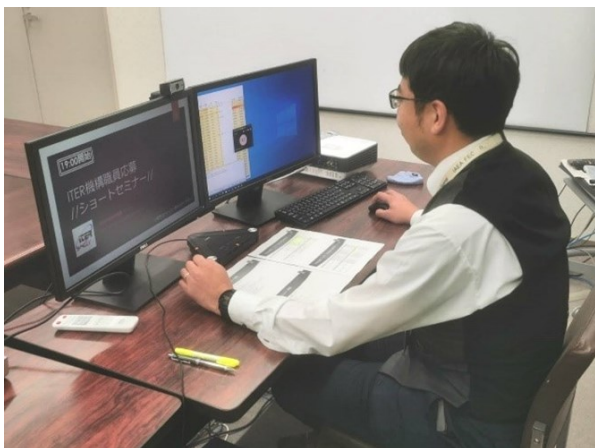


図 4 ITER 機構職員応募ショートセミナー。

### 3. ITER 計画説明会の実施

2023年3月3日にオンラインで開催された蔵前就職情報交換の集い（第10回 K-meet）に出展した。本イベントは、東京工業大学の2024年3月卒業・修了予定者に向けた説明会であり、量研の人事担当及びITER計画に携わる研究員が各々説明を行った。

人事担当は、量研の概要や2024年に予定している募集要項を紹介した。ITERに関連する募集については「核融合炉用保守ロボットに関する研究開発」、「原型炉に向けたトリチウム技術に関する研究開発とトリチウム除去システムの調達業務」の2テーマを予定している。一方、ITERの研究開発に関しては、東京工業大学OBの研究者がITER計画の概要、現在従事している業務、入構の理由などを紹介し、研究員として働く魅力を具体的に伝えた。さらに、2つの研究開発グループの研究員が各々の業務を紹介し、ITERは幅広い分野の研究開発が必要であることを説明し、これまで学んできたことをITERにぜひ活かしていただきたいと伝えた。

今後もこのような活動を通して幅広い分野の方に理解を深めていただき、核融合エネルギー実現のためにより多くの人材を確保していきたい。

出展の詳細については、ITER Japan ウェブサイト「ITER 計画と ITER 機構職員公募の説明会（出展情報）」に掲載している。（[https://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/page6\\_14.html](https://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/page6_14.html)）

（量子科学技術研究開発機構 量子エネルギー部門）